

第5章

着実な計画の推進



1 着実な計画の推進

本計画に掲げる重点戦略と分野別計画、地域間連携(エリア)のまちづくりの着実な推進を目指して、人口減少など社会経済情勢の変化に対応し、安定した市民サービスが提供できるよう、効率的かつ効果的に行政経営をすすめます。

なお、計画の推進にあたっては、多様な主体の協働や住民自治の確立などを基盤として、毎年市民満足度調査を行い、定期的に事業の見直しを行うなど、急激な社会変化や市民ニーズに柔軟に対応し、限られた資源を市民のしあわせにつながる分野へ集中的に投資するなど、メリハリのある市政運営により、計画推進の下支えを行います。

■ 重点的にすすめる施策

Ⅰ (1)市民協働・情報発信・多様性

協働のまちづくり

地域活動における担い手の確保

- 地域の負担軽減や、多様な主体の協働を促進し、町内会やまちづくり協議会などへの支援により、地域コミュニティの維持や活性化に向けた取り組みをすすめます。

市民協働による多様な課題の解決

- 市民、町内会、市民活動団体、学校、事業者など、地域づくりの様々な担い手の協働を促進することにより、地域課題に取り組む環境整備をすすめます。

多様な主体による協働のまちづくりの深化

- 町内会やまちづくり協議会の位置づけを明確化し、多様な主体の協働による自主的なまちづくり活動を活発的に取り組む環境整備をすすめます。

広報公聴

伝わる広報活動の展開

- 戦略的な情報発信により、伝わる広報の実現を図ります。

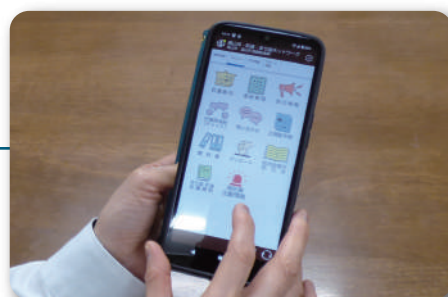
市民の声を市政に反映する公聴の展開

- 「誰でも、気軽に、簡単に」意見ができる環境の充実を図ることにより、市民の声を政策に反映します。

多文化共生・人権

自分らしく生きられる、多様性の尊重

- 多様な生き方や働き方に対する市民の意識醸成などにより、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を図ります。



■ 結ネット



■ 多様性講演会

異なる文化や慣習を認め合い、共に生きる社会の構築

- 在住外国人への暮らしに必要な様々なサポートや外国人材受入事業者への支援などにより、異なる文化を持つ人々が互いに安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。
- 外国語講座や異文化交流イベントなどの開催により、多様な文化や異なった価値観を尊重する市民意識の醸成を図るとともに、相互理解を深めます。

(2) 計画推進

総合計画

新たな体制によるまちづくり

- 市民のまちづくりに対する思いを実現する仕組みの構築により、新たなまちづくりの構築を図ります。

計画の進捗管理、実効性の確保

- PDCAサイクルに基づく計画の進捗の管理、社会の変化と事業の進捗に応じた実施計画のローリングをすすめるとともに、各種計画と連動した様々な施策を推進することにより、総合計画の実効性を確保します。

効果的な連携

- 国や県、周辺自治体、事業者、団体などとの連携により、効果的で効率的な事業の推進を図ります。

組織・人事・行政経営・DX推進

社会情勢等に対応した効率的・効果的な組織体制の構築

- 行政課題に対応した機能的な組織編成や多様な人材の活躍などにより、効率的・効果的な組織体制の構築を図ります。
- 健康で働きやすい職場環境の整備などにより、職員の活力や生産性の向上、組織の活性化を図ります。
- 多様化、高度化する行政課題に対応するため高い専門性や政策形成能力を備えた職員の育成や確保を図ります。
- 住民異動手続きや各種証明書発行のスマート化などにより、市民サービスの向上及び業務の効率化を図ります。
- 出資等の基本的な考え方を踏まえた出資団体への出資等の見直しをすすめます。

新たな官民連携による効果的な施設の整備

- 民間事業者の創意工夫による新技術や独自ノウハウを活用した公共施設の整備をすすめます。

デジタル技術の活用による市民サービスの向上

- デジタル化などを通じた行政全般にわたる業務最適化や市民の利便性向上を図ります。
- デジタル技術やデータを有効活用して課題解決や新たな価値の創造につなげていくことができる人材の育成や確保をすすめます。



■ 飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム

(3) 財政運営

財政・財産管理・税制

持続可能な財政運営

- 歳入の積極的な確保、事務事業見直しなどによる歳出の削減、限られた財源の重点的かつ効果的な配分により、財政の健全性を維持します。
- 財政の透明性の確保、計画的な地方債の借入や基金の活用、長期の財政収支の見通しなどにより、持続可能な財政運営を行います。

公有財産の有効活用

- 公共施設の複合化や多機能化をすすめます。
- 不要な財産の処分をすすめます。

適正な公契約

- 市内事業者の積極的な活用を図ります。

公平な財源確保

- 市税収入の安定的な確保のため、公平公正な課税を行い、効率的な収納業務を行います。

幸福実感指標

指標名	指標の説明	単位	現状値 (2024)	中間目標 (2029)	目標 (2034)
市民満足度 [協働のまちづくり]	「多様な主体(市民、町内会、地域内団体、学校、事業者、行政等)が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合	%	52.9	↗	↗
市民満足度 [広報公聴]	「必要な情報が入手できるとともに、市政へ意見を言える環境が整っている」と感じている市民の割合	%	42.4	↗	↗
市民満足度 [多文化共生・人権]	「年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、多様な生き方・暮らし方への理解が深まっている」と感じている市民の割合	%	39.2	↗	↗
市民満足度 [行政全般]	「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	%	44.7	↗	↗
市民満足度 [DX]	「地域におけるデジタル活用がすすんでいる」と感じている市民の割合	%	39.2	↗	↗
市民満足度 [財政運営]	「将来を見据えた財政運営に取り組んでいる」と感じている市民の割合	%	29.4	↗	↗

主な関連計画

行政経営方針、公共施設等総合管理計画、DX推進計画